

Struts の代替としての JavaServer Faces の検証

安藤友晴・メディアとソフトウェア

●要約

Javaを使ったMVCモデル2によるWebアプリケーションを開発するうえで、JavaServer Faces (JSF) は Struts の代替となりうるか検証した。検証にあたっては、Struts で作成したサンプルアプリケーションと同一の機能を持つものをJSFでも実装して、両者の実装方法を比較した。開発したアプリケーションは、JSFのタグライブラリの制約のため画面の構成が若干異なりつつも、両者ともほぼ同一の機能を持っている。Struts で作成したアプリケーションと比較すると、JSF で作成したアプリケーションは次の3点が優れている。まず第一に、JSF では画面の遷移を簡明に書ける。第二に、JSF では JSF EL が導入された JSP を利用できる。第三に、JSF ではセッション管理に関するプログラムを記述しなくてもよい。こうした特長により、JSF を用いることでWebアプリケーションのプログラム開発効率の向上が期待できる。文字化けが発生するという問題を抱えているが、その点さえ解決できればJSFはStrutsの代替技術となりうるという結論を得た。

●キーワード

Web アプリケーション

MVC モデル 2

画面遷移

Struts

JavaServer Faces (JSF)

タグライブラリ

※2004年1月14日受理(紀要編集委員会)